

第 65 回日本母性衛生学会総会・学術集会

テーマ： 共創 ―持続可能な母子の健康を目指して―

大会長： 金子 政時（宮崎大学大学院看護学研究科 教授）

会 期： 現 地 開 催：2024 年 10 月 18 日(金)～19 日(土)
オンデマンド配信：2024 年 11 月 1 日(金)正午～18 日(月)正午

会 場： シーガイアコンベンションセンター（宮崎市）

参加人数： 1,671 名（うち現地参加 964 名）

カテゴリ別：

カテゴリ	早期登録	通常登録	合計
会員	581 名	377 名	958 名
非会員	302 名	332 名	634 名
学生	55 名	－	55 名
招待等	24 名	－	24 名
合計	962 名	709 名	1,671 名

都道府県別：

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	59	東京都	192	滋賀県	28	徳島県	9
青森県	3	神奈川県	75	京都府	13	愛媛県	11
岩手県	16	新潟県	18	大阪府	148	高知県	7
宮城県	25	富山県	26	兵庫県	74	福岡県	81
秋田県	10	石川県	18	奈良県	21	佐賀県	6
山形県	7	福井県	9	和歌山県	19	長崎県	19
福島県	23	山梨県	9	鳥取県	8	熊本県	24
茨城県	34	長野県	26	島根県	13	大分県	20
栃木県	24	岐阜県	17	岡山県	45	宮崎県	164
群馬県	19	静岡県	45	広島県	28	鹿児島県	56
埼玉県	52	愛知県	65	山口県	19	沖縄県	17
千葉県	52	三重県	7	香川県	10		

プログラム： 会長講演、特別講演（4セッション）、教育講演（6セッション）、シンポジウム（6セッション）、学会指定研修プログラム（2セッション）、オンラインセミナー（3セッション）、ランチョンセミナー（4セッション）、特別企画ワークショップ、市民公開講座、一般口演（162題）、コメディカル愛育賞候補演題（9題）、ポスター（148題）



第 65 回日本母性衛生学会総会・学術集会を振り返って

はじめに

2024 年 10 月 18 日（金）、19 日（土）に第 65 回の本母性衛生学会総会・学術集会を宮崎市シーガイアコンベンションセンターで開催しました。

宮崎県での開催は、宮崎大学名誉教授（本学会の前理事長）の池ノ上克先生が、2005 年に開催されて以来の開催となりました。

本学術集会のテーマは「共創 ―持続可能な母子の健康を目指して―」としました。近年、私たちを取り巻く環境や社会には、人口減少、超高齢社会、相次ぐ異常気象等の多くの問題が生じています。このような状況下、本学術集会では、持続可能な母子の健康を目指して、助産師、看護師、保健師、医師などが集い学術的な意見交換により母子保健に関わる知識と技術の向上を目指しました。



皆様のご協力やご支援により、お陰様で無事に学術集会を終えることができました。厚く御礼を申し上げます。

振り返り

新たな試みとして助産師・若手医師を対象としたハンズオンセミナーを開催しました。参加募集定員、プログラム、講師の確保等、課題は残りましたが、谷垣先生や石川先生のご尽力により盛況なセミナーとなりました。学術集会への現地参加者を増やす目玉となるプログラムになる可能性を感じました。



また、2024 年の年始に能登半島地震が発生しました。宮崎県でも同年 8 月に最大震度 6 弱の地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報」による特別な呼びかけが行われました。災害に関しては、日本国民がとても関心を寄せる話題です。今回、能登半島地震や熊本地震で被災された先生方から生の声をお聞きする機会を設けました。このシンポジウムはとても好評で、多くの方がシンポジウムに参加されました。

池ノ上先生のご講演は、対談方式で開催しました。
これもユニークな企画であったと思います。
5つ子ちゃん達の妊娠、分娩、育児に関する貴重な
お話をお聞きすることができました。



今後の学術集会開催にあたって

開催時期の10月には、多くの学術集会が開催されます。また、各大学においては、学生実習が開始される時期でもあります。これらが参加人数に影響を及ぼす可能性があります、オンライン配信によりある程度は、それらの影響を少なくできたかもしれません。

今回、都道府県別の参加者人数をまとめて表に示しました。

開催県である宮崎県からの参加者数は、東京都に次ぐ人数でした。

これは、学術集会幹事長の土井先生を筆頭とした運営スタッフの尽力によるところが大きかったです。学術集会参加者の人数を増やすためには、担当校だけの呼びかけでは限界があります。各都道府県の代議員の先生方のご協力が必要かと思います。

最後に学術集会運営資金の問題です。前年度の大橋先生からも問題提起されましたが、企業からの協賛を得られにくい社会情勢にあります。また、宮崎県のような地方開催になれば、都会の開催では協賛できても、宮崎県での開催では断られることもありました。そのような状況でしたので、身の丈にあった学術集会にさせていただきました。その結果、日本母性衛生学会本部に資金的なご迷惑をおかけすることなく、なんとか開催ができました。しかし一方で、至らなかった点が多々あったかもしれませんが、その点はご容赦ください。



プログラム概要

※敬称略

会長講演

臨床研究シーズは臨床現場にあり

「先天性サイトメガロウイルス感染症と 3D カメラによる新生児身体測定」

座長： 小川 久貴子

演者： 金子 政時

特別講演

1. 5つ子ちゃんからのメッセージ

座長： 金子 政時

演者： 池ノ上 克

2. 新生児殺を防ぐための内密出産

座長： 児玉 由紀

演者： 蓮田 健

3. カメラによる豚の体重推定（スカブター）と新生児の身体測定への展開

座長： 金子 政時

演者： 川末 紀功仁

4. 最近の母子保健行政の動向

座長： 西口 富三

演者： 石丸 文至

教育講演

1. 妊娠と糖尿病

座長： 正岡 直樹

演者： 鮫島 浩

2. 助産学共用試験の推進：助産学 OSCE を中心に

座長： 高田 昌代

演者： 村上 明美

3. ～安全なお産を守るために～

産科医・助産師の連携による産科医療チーム強化実現へ向けた ALSO の取り組み

座長： 伊藤 雄二

演者： 新井 隆成

4. 症例でみる OC/LEP 製剤と血栓症－安全な使用を目指して

座長： 池ノ上 克

演者： 小林 隆夫

5. 周産期医療における遺伝カウンセリング

座長： 土井 宏太郎

演者： 福島 明宗

6. 妊産婦急変時の対応 ～その時どうする？～

座長： 桂木 真司

演者： 荻田 和秀

2024 年度 JSMHEBP 学会指定研修プログラム

1. 社会的ハイリスク妊産婦とメンタルヘルス：産科・地域保健・精神科の連携システム
座長： 立岡 弓子
演者： 中塚 幹也
2. 思春期からの妊活教育－妊娠しやすい身体作り
座長： 小川 久貴子
演者： 齋藤 益子

シンポジウム

1. 学校だけに頼らない！みんなでやろう性教育！
座長： 高村 一紘、北村 邦夫
① 思春期ピアカウンセリングと性教育 鶴田 来美
② 学外講師 20 年の経験から 赤木 夏代
③ 思春期相談室における性教育 杉村 由香理
④ 医療現場で行うユースクリニック 門間 美佳
2. 産後 1 年までの女性の心身の回復への支援を考える
座長： 米山 万里枝、篠崎 博光
① 本学における産後ケア研究センターの取り組み 島田 祥子
② 母性看護外来（看護専門外来）の実践からみえてきた看護のちから 常盤 洋子
③ 小児科医の立場から、新生児期からの継続的な支援の重要性 有光 威志
④ 産後リカバリー期における休養時専用リカバリーウェアの活用 下山 祐佳
3. 災害対策関連
座長： 鈴木 真、児玉 由紀
① 災害時に地域で妊産婦を守るために必要な基礎知識 鈴木 真
② 令和 6 年能登半島地震における周産期医療地域拠点病院の対応 新井 隆成
③ 熊本地震における災害時周産期医療の対応
一熊本地震緊急周産期医療対策プロジェクトとその検証 坂口 勲
④ 地域における災害時母子支援活動と開業助産師の役割 赤木 夏代
⑤ 大規模災害時に産婦人科施設を支援するシステム（PEACE）とは？ 津田 尚武
4. 産後の骨盤底筋群の問題
座長： 橘 大介
① 妊娠・分娩による骨盤底機能低下と、ケアの基本的考え 吉田 美香子
② 産後の骨盤底筋トレーニング 重田 美和
③ 産後 X 年後から考える、骨盤底筋群の問題 遠藤 誠之
5. 心の“ゆらぎ”を“ケア”で整える～メンタルヘルスが不調な女性へのアプローチ～
座長： 山崎 圭子、齋藤 知見
① こころとからだの養生 横山 顕子
② 私が実践している産後のメンタルヘルスケア 宮下 美代子
③ 痛みや不安へ理学療法的アプローチ 新地 美穂
6. 子宮頸がんを排除するために
座長： 田代 浩徳
① 宮崎市における子宮頸がん撲滅への取り組み 黒田 恵子
② 宮崎県における子宮頸がんの現状と HPV ワクチン普及への取り組み 川越 靖之
③ 日本における子宮頸がん検診の実情と宮崎県への提案 小西 宏

オンラインセミナー

1. 分娩期の胎児心拍数陣痛図
演者： 金子 政時
2. 意思決定支援
演者： 土井 宏太郎
3. 新生児フィジカルアセスメント
演者： 児玉 由紀、渡邊 祐子

特別企画ワークショップ

—体験してみよう—（超音波・分娩介助・器械分娩など）
助産師・若手医師を対象としたハンズオン
プランナー： 谷垣 伸治、石川 紀子

市民公開講座

日本神話にみる母と子～トヨタマヒメの出産の物語を中心に～
座長： 長鶴 美佐子
演者： 大館 真晴